

震災から力強く 復興する街・神戸

中村 徳 治

関東地区公立中学校修学旅行委員会(関修委)は、今夏も修学旅行の改善向上と新しい候補地の探求のため、関西(神戸・大阪)での現地研修会を実施した。

第一日は、昨年の阪神・淡路大震災から力強く復興する神戸の街を訪れた。

まず、新神戸駅から、ポランディアの神戸観光ガイド下居上利孝氏の案内で、異人館のある北野町へ向かった。入り組んだ細いゆるやかな坂道の多い北野町を散策していると、いつしか時間をさかのぼり異国に似たような気分になっていた。

北野町のシンボリックな存在の風見鶏の館は、震災の被害を受け、改修のため見学できなかったが、イタリヤを中心にヨーロッパのアンティークな家具調度品や巨匠ミレー、コロの絵画等多く、美術品が収集展示されている装飾美術館(イタリヤ館、コロニアル様式)の正面のペランダ、左右で形が違ったり出し窓の印象的な明黄の館(小林家住宅)等を見学した。

ここから先は、全修協大阪事務局三田泰明事務局長の案内で、みなと神戸の三六〇度のパノラマが望める

「神戸市教育委員会は、神戸修学旅行誘致促進協議会と連携を取りながら、修学旅行生を対象にした震災学習と交流事業に取り組んでいる。防災教育の一環としての被災地校との交流学習、神戸での震災学習のための講師派遣、震災学習資料の作成と配布等がその内容である。六月末現在、交流を持った学校四校、講師派遣依頼をした学校十三校といつことである。今年度

秋にも、十数校の実施が予定されている。

このような神戸での体験学習を取り入れる場合には、現地へ行って単に話を聞いてみようというふうな安易な考えではなく、自校の防災教育の計画に位置づけて、事前の準備や学習をしてから現地を訪れるのが、より多くの効果を得ることになることである。

これからの防災教育は、従来の避難訓練偏重の教育を見直し、災害の予防、応急対応、災害からの復旧過程のそれぞれの段階について、必要な知識・技能を学習させ、生命の尊重を基本とする積極的な防災態度を形成することが必要のことである。また、管理職は、教職員をどう守ってやるか、教職員は、児童生徒を

「神戸からあなたへ」

「震災から学ぶ」

テキスト「震災から学ぶ」

阪神・淡路大震災の遺児たちに奨学金を!!

兵庫県学校厚生会と兵庫県教職員組合協議会は、「わかば奨学金基金(兵庫県南部地震遺児奨学金基金・石井亮一理事長)を昨年春設立した。給付額は月額小学生三千円、中学生五千円、高校生八千円、二百三十名の遺児に給付されている。

名義(兵庫県学校厚生会)兵庫県南部地震遺児奨学金

銀行口座(さくら銀行)山手支店・普通預金3502474

郵便振替口座00116066600024

大自然と世界遺産の 岐阜・富山へ現地研修

近畿地区公立中修学旅行委

近畿地区公立中学校修学旅行委員会は、全修協共催のもと、修学旅行の改善向上、新規コース開発のため、昭和六十三年以来、現地研修を行ってきた。本年は第九回を迎え、八月十九日から二十一日まで岐阜県郡上八幡、富山県五箇山合掌集落及び立山室堂を中心に実施した。

藤井政勝会長(生駒市立生駒南中学校長)を団長に近畿地区から二十一名が参加し、郡上八幡町・富山県関係者の資料に基づき説明を受け、視察も天候に恵まれ、充実した内容の現地研修となった。

オールバスの修学旅行もあることから、今回は全行程をバスで行うことにしたが、大阪を九時に出発してまず名神高速の渋滞に巻き込まれる。サービスエリアでの休憩を短縮してやや回復したものの、郡上八幡到着は約三十分遅れる。

昼食後、町会議室において宗広亭三町長ほかの「水と踊り」の心づかんと郡上八幡の町を後にする高尾(庄川)を分ける分水嶺公園を見て、ホテルホワイトキャッスルに着く。

ホテルは修学旅行やスキー学習にもよく使われているだけに施設・設備もよく行き届き、六百人以上も宿泊できるが、小規模校でも

百選に選ばれたもので、美しい自然の郡上八幡の象徴だ。

三年(しん)をつくす思ひ川 春たつさわにわきいづるかな (宗広)

水といえは十数箇所もある橋上からのダイビングが夏の風物詩だ。練習を重ねた中学生の挑戦。おもだか家庭芸館は、民具、民芸品の展示館で折紙の工夫などの実演もあった。

美しい木造の八幡城を遠望し、郡上踊りの提灯が揺れる郡上の町を後にする高尾(庄川)を分ける分水嶺公園を見て、ホテルホワイトキャッスルに着く。

ホテルは修学旅行やスキー学習にもよく使われているだけに施設・設備もよく行き届き、六百人以上も宿泊できるが、小規模校でも

合掌集落の説明を聞く

第一日、御母衣(おぼろ)ダムを通って五箇山へ。重文村上家と世界遺産になった合掌造りの内部を見学。伝統的な生活の知恵を知るとともに、保存の大切さを痛感する。古老の奏でるコキリコ節に送られ、相合倉掌集落から和紙の里へ。藤井会長ほか数人のすく紙つくりの体験に拍手がわいた。

五箇山からは一路立山室堂へ。富山県の誇る高原道路はガスの中で、称名滝をはじめ、二千近い弥陀ヶ原の湿原も見えなかったが、天狗平に近づくころから霧が晴れ、立山連山や剣岳のすばらしい眺望に歓声がわいた。

立山黒部アルペンルート山崎章所長や解説員の案内で日本最古の山小屋室堂(重文)を見学し、雪渓を登り、みくりが池への道を進む。澄みきった海拔二千四百五十メートルの散策は現地研修のまさにハイライトになった。

立山に降り置ける雪を常夏に見れば飽かず神からなうし (柿本人麿)

身も心も洗われる思いで下山、極楽板の立山国際ホテルに宿泊。富山県観光連

「全国公・私立中学校修学旅行実態調査の結果」冊子が完成

▽B5判、167ページ、税込千円、送料三百九十円。

申込先(財全修協本部)03-52559-0631、FAX03-52559-0630

「動物たちのあったカラ・ン・ド」

●営業受付時間
9:00~17:00 (3月16日~11月15日)
9:30~16:00 (11月16日~3月15日)

●修学旅行料金 (消費税含む)
高校生1,100円 中学生 800円
小学生 700円 ガイドラジオ
バス1台につき1,030円

別府あじむ草原 博物館相当施設

アフリカンサファリ

〒872-07 大分県宇佐郡安心院町大字南畑
(0978) 48-2331(代)
FAX (0978) 48-2330

国立公園六甲山の山頂近くにあるグランドホテル

六甲スカイヴィラはゆたかな四季の彩りを誇るさわやかなリゾートホテルです。

周囲は数多くのレジャー施設があり、四季を通じて楽しんでいただけます。

鉄筋4階建/収容人数 200名

〒657-01 神戸市灘区六甲山町西谷山1878-86

みなと神戸の思い出に グランドホテル 六甲スカイヴィラ

TEL.(078)891-0140

KANSAI KISEN

直行便：大阪南港・神戸 ↔ 別府
松山寄港便：大阪南港・神戸 ↔ 松山 ↔ 別府

関西汽船 船客営業部販売課 大阪市港区弁天6-7-15 ☎(06) 574-8500
東京支店 東京都中央区八重洲1-9-9 ☎(03)3274-4273

旅のワンポイントガイド

夏の月山登頂
出羽三山の主峰、月山は一年の大部分が深い雪に...

標高約一、五〇〇メートル地点にあるリフト上駅から、しばらくの間は整備された木道が続き、やや急な斜面を越えれば姥ヶ岳山頂...

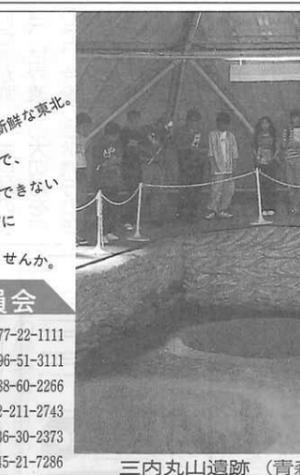


木道を行く研修旅行参加者

途中一時間ほどの間は数か所の滑りやすい小雪渓を横断しなければならず、今年のようにとりわけ残雪が多い年には注意が必要である...

夏修協では、九月から来年度の企画について検討を始め、十月中にも企画案をまとめる予定である。

学びランド東北 NICE STUDY
自然や歴史・文化など、出会うものすべてが新鮮な東北。体験学習の宝庫。東北で、日頃めったに体験できない「生きた学習」にチャレンジしてみませんか。



三内丸山遺跡 (青森県)

妙法寺
日蓮宗で傍殿(りょういで)と山蓮華院と号す。建長五年(一二五三)に日蓮が初めて小庵を結んだところといわれ、日蓮上人松葉ヶ谷小庵跡の石柱が立つ。

僧の一人日朗の孫弟子が、元享元年(一二三二)、当時本國寺と改称していたこの堂を師から受け継ぎ、貞和十二年(一一三三)日朗は父母の故地鎌倉に戻り、松葉ヶ谷の小庵跡に堂宇を再興して、自らの法名をもつて山号寺号としたものと云う。

吾妻鏡にみる鎌倉の再発見(35) 無品の小寺(5)
法性(ほうしょう)寺
と、山門・四脚門・仁王門・鐘樓のほかに塔頭も五院を数えて栄えたといわれ、下って江戸期においても、十代將軍家斉の参詣がある。山門をくぐると日蓮大聖人の参詣で門前市をなした...



妙法寺苔の石段

新編相模国風土記によると、山門・四脚門・仁王門・鐘樓のほかに塔頭も五院を数えて栄えたといわれ、下って江戸期においても、十代將軍家斉の参詣がある。山門をくぐると日蓮大聖人の参詣で門前市をなした...

加賀百万石の歴史との出会い。
最新のエレクトロニクス映像や芝居、展示などで、加賀百万石を築き上げた前田家の歴史を再現。12万坪を超える大自然を背景に、ライブで華麗な伝統文化を歴史体験できます。

古都金沢の新名所 ルネスかなざわ
リゾートロッジ(泊2食)
小・中学生7,500円より
高校生以上8,500円より
最大500名様まで宿泊可
(一枚一室に安心して宿泊できます)

978PEN 平成9年8月 新京都駅文化施設開業予定
本年9月3日よりメインホール秋公演団体予約受付開始
新しい京都駅にぎわいあふれる文化施設が誕生。
株式会社シアターアーツ1200
〒600 京都市下京区塩小路通り西洞院東入る
日本生命京都ヤサカビル7階
TEL (075)341-2360 FAX (075)341-2370